



文京区長

なり さわ

成沢 ひろのぶ

証紙

W24mm×H17mm

プロフィール

- 文京区本郷生まれ、57歳
- 暁星学園幼小中高、駒澤大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院修了、修士(公共政策学)
- 当時全国最年少の25歳で文京区議会議員に初当選、第37代・第40代文京区議会議員
- 2007年、文京区長に就任。
- 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、跡見学園女子大学兼任講師
- 特別区長会副会長

子どもたちと高齢者への応援歌 - 充実と発展の第5章へ -

区長就任以来、「子どもたちと高齢者への応援歌」を掲げ、すべての世代を支える施策の充実に全力で取り組んできました。子育て世帯の増加により予算規模は大幅に拡大、新しい施策や施設整備を進めることができました。

現在、「文の京」総合戦略において、55の主要課題の解決に向けて201の事業を展開中。今年は総合戦略を改定し、すべての区民が住んでいて良かったと実感できる区政運営をさらに進めていきます。

新たな視点①

高校生世代まで 子育て支援の対象を拡大!

児童手当等中学生までが中心だった子育て支援の対象を18歳まで拡大し、所得制限を設けない高校生の医療費無償化、高校生への区独自給付金を創設。学校給食の無償化は国に強く要望。

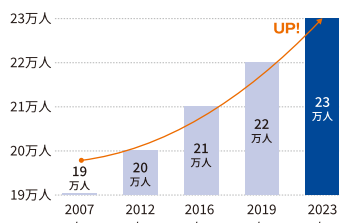
新たな視点②

大学や民間との 協働によるまちづくり!

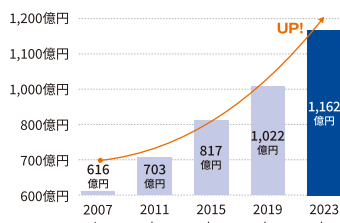
東京大学周辺にはAIスタートアップが集積。区内19大学とのさらなる連携で地域課題の解決に挑戦。また東京ドーム周辺の再整備により文京区の新たな価値創造のきっかけに。

数字で見る実績

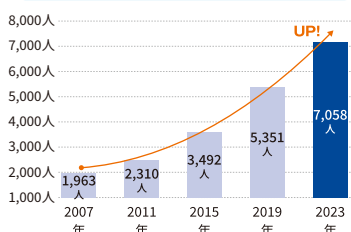
人口 (2023年1月1日時点)



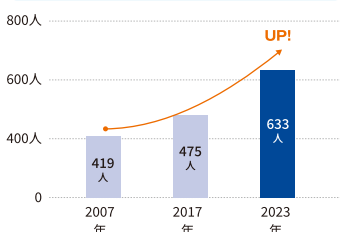
予算規模 (一般会計)



保育園定員数



特別養護老人ホーム定員数



実現するチカラ

- B-ぐる(千駄木・駒込ルート)開通
- 目白台運動公園オープン
- 音羽中学校開校
- B-ぐる(目白台・小日向ルート)開通
- プレミアムお買物券事業スタート
- 公園再整備事業スタート
- 小石川運動場リニューアル
- 森鷗外記念館開館
- 文京総合体育館オープン
- 第六中学校改築
- 学校施設快適性向上事業スタート
- フレイル予防プロジェクトスタート
- キャッシュレス決済ポイント還元事業スタート
- 小石川ヒルサイドテラス(特養)オープン
- 小日向の家(特養)オープン
- 文京ソコカラキャンペーン開始
- ポジティブシニアをつなぐ応援プロジェクト開始
- B-ぐる(湯島・本郷ルート)開通
- シビックホールリニューアル
- 総合福祉センターオープン
- 教育センターオープン
- 中高生の秘密基地(b-lab)オープン
- 肥後細川庭園開園
- UNWomen日本事務所開設
- 子ども宅食プロジェクトスタート
- 洛和ヴィア文京春日(特養)オープン

そして、これからは…。

- 文京区児童相談所開設
- 特別教室の快適化工事に着手
- 学びの居場所架け橋計画の実施
- 誠之小・明化小・柳町小・千駄木小・小日向台町小の改築
- 小日向2丁目国有地に特養を整備

このほか、詳しくは裏面をご覧ください。



防災・危機管理

1 災害・感染症から区民の命と財産を守る

- 首都直下型地震に備え区民の主体的な防災活動の促進
 - ・在宅避難の支援
 - ・中高層マンション防災対策支援
 - ・防災訓練への防災アドバイザー派遣と防災士のサポート
- 円滑で適切な避難所運営環境整備
- 災害時要支援者の避難支援体制強化
- 感染症対策等、危機管理体制の構築



子育て・教育

2 子どもたちに輝く未来をつなぐ

- 妊産婦やその家族への切れ目のない支援
 - ・文京区版ネウボラ事業、乳児家庭全戸訪問事業
- 保育所待機児童解消後の保育の質の向上と安全確保
- 高校生世代への支援を拡大
 - ・高校生医療費無償化(所得制限なし)と区独自給付金支給
- 子どもの貧困対策計画に基づく必要な教育・生活・経済的支援
 - ・「子ども宅食プロジェクト」の充実
- 子育て家庭の孤立化・児童虐待等の予防的支援
 - ・区立児童相談所の開設
- 子どもの発達に寄り添った支援
 - ・各施設での医療的ケア児の受け入れ
 - ・放課後等デイサービスの整備
- 質の高い教育情報ネットワーク環境の整備とグローバル化に対応する力の育成
- 安全・安心な教育環境の確保
 - ・誠之小、明化小、柳町小、千駄木小、小日向台町小学校の改築等
- 児童の放課後の安全な居場所確保
 - ・育成室増設により、待機児童ゼロに
- 特別支援教育の推進
- 不登校など学級に馴染めない児童・生徒への支援
 - ・「学びの居場所架け橋計画」で推進



福祉・健康

3 健康で安心な生活基盤の整備

- 誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる地域共生社会の実現
- 介護サービス基盤の充実
 - ・小日向2丁目国有地活用による特別養護老人ホームの整備
 - 文京区版地域包括ケアシステムの推進
 - ・24時間在宅ケアシステムの構築
 - ・認知症施策の推進
 - 地域共生社会を目指した相談支援体制の整備
 - ・ヤングケアラーの負担や不安の軽減
 - ・ひきこもり総合対策
 - 障害者のニーズに応じたサービスの充実と施設の整備
 - がん対策の推進



経済・商店

4 活力と魅力あふれるまちの創造

- 区民生活や地域経済に活力と賑わいを取り戻し、文化観光施策を推進
- 中小企業経営基盤の強化・生産性の向上
 - ・設備投資支援補助事業
 - ・リカレント教育やリスキリングによる人財支援
- 商店街の活性化
 - ・「文京ソコチカラ」による区内店舗の支援強化
 - ・キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施
- 文化資源を活用した文化芸術の振興



地域・文化

5 文化的で豊かな共生社会の実現

- 主体的な地域活動や学びの場、スポーツを楽しむ機会を通じて暮らしの中に安心と豊かさを感じることができる施策の推進
- 地域コミュニティの活性化
 - ・コロナ禍で縮小・休止していた町会・自治会イベント等への支援
- 図書館機能の向上
 - ・竹早公園と小石川図書館の一体的整備
- 男女平等参画社会の実現とジェンダー平等の推進
 - ・困難な問題を抱える女性のほほえみ支援ネットワーク事業



まちづくり・環境

6 環境の保全と快適で安全なまちづくり

- 誰もが安全・安心な暮らしを送ることができる都市基盤の整備
- 二酸化炭素排出量の実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指す
- バリアフリー基本構想に基づき、インフラ等のバリアフリー化
- 公園再整備事業による良好な環境づくり
- 循環型社会の形成
 - ・フードシェアリングサービス実施による食品ロスの削減
- 総合的な自転車対策
 - ・自転車ナビラインやナビマークの設置



7 持続可能な行財政運営

- デジタル技術の活用による地域社会の発展に向けた取組
 - ・「文京区DX推進プロジェクト」による、行政手続きのデジタル化
- 企業、大学、NPO等とのさらなる連携により、地域の課題を解決
 - ・旧元町小学校と元町公園の一体的整備
 - ・文京共創フィールドプロジェクト
- ふるさと納税の活用拡大



オフィシャルホームページQRコード

